

高取小だより

令和7年5月9日



三本桜

第6号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
5月の目標：けがに気をつけよう

大谷選手のスピーチに学ぶ

2023WBCでアメリカとの決勝戦前に、ドジャース・大谷翔平選手が行ったスピーチをいろいろなところで聞きます。

「僕から1個だけ。あこがれるのをやめましょう。ファーストにゴールドシュミットがいたりとか、センター見たらマイク・トラウトがいるし、外野にムーキー・ベッツがいたり、野球をやれば誰もが聞いたことがあるような選手たちがいると思う。今日1日だけは、やっぱりあこがれてしまったら超えられないんで。僕は今日超えるために、トップになるために来たので、今日1日だけは、彼らへのあこがれを捨てて、勝つことだけを考えていきましょう。さあ、行こう！」

とても分かりやすい短いスピーチです。専門家によれば、①事実への共感②考え方の変換③行動と激励という構成により、仲間の心を励ましているそうです。

①事実への共感 まず、「ファーストにゴールドシュミットがいたりとか（中略）聞いたことがあるような選手たちがいると思う」と事実を述べて、「あこがれてしまう」ことに共感しています。また、具体名を出してリアリティーを上げ、共感していることをはっきりさせています。

②考え方の変換 次に、「今日1日だけは、やっぱりあこがれてしまったら超えられないんで。僕は今日超えるために、トップになるために来たので」と考え方を变えるよう促しています。

③行動と激励 そして、「今日1日だけは、彼らへのあこがれを捨てて、勝つことだけを考えていきましょう」と、具体的な行動を示して、仲間を激励しています。さらに、「さあ、行こう！」と、力強く決意を示しています。

この3ステップは、子どもたちに接するときにも使えそうです。

①事実への共感 「そんなにつらいことがあったの。大変だね。悩むのも当たり前だよ」

②考え方の変換 「一人で抱えないで、誰かに助けてもらおう」

③行動と激励 「うまくいくように作戦を立てよう。きっとできる。大丈夫だよ！」

私たち大人についても、自分自身を励ます際に有効でしょう。困難に直面したとき、事実を認めて自分に共感し、考えを改めて、具体的な行動を起こすことにより、突破口を開くことを期待できます。

どろんこカップ

17日（土）、向山町の高取学童農園で「どろんこカップ」が行われます。子どもたちはもちろん、保護者、地域の方まで泥にまみれて、親子手つなぎ競争、ビーチフラッグ、障害物リレー、綱引きの4競技が実施され、白熱したバトルが展開されそうです。PTA理事の皆様、鷹取の会の皆様には大変お世話になります。よろしくお願いします。

【昨年の泥んこカップのようす】



【フラッグ争奪 熱い戦い】



【吉岡市長の激励を受ける】

家庭訪問 ありがとうございます

家庭訪問では、日程調整にあたって無理をお願いしました。ご協力をいただき、ありがとうございます。

約10分間という限られた時間では、十分な情報共有や交換ができなかったかもしれません。どこかで電話等によりお話をさせていただくことも可能です。ご希望があれば担任まで連絡をしてください。よろしくお願いします。



服装や持ち物について

- ・基本的には私服を着用しますが、状況に応じて体操服で生活してもかまいません。
- ・基本的には安全帽子をかぶって登下校をしますが、時期に応じてキャップやハットを着用してもかまいません。
- ・基本的にはランドセルを使いますが、時期に応じてリュックサック等を使ってもかまいません。



ご理解をお願いします

気温が25度を超え、夏日となる日も珍しくありません。今年も高浜市では、地球温暖化防止対策の一環として環境省が推進する「クールビズ（軽装による執務）」を実施します。

このため、職員がノーネクタイをはじめ、軽装で対応させていただきます。環境負荷の低減や電力需給への取り組みとして、ご理解をお願いします。

